

# 学びあい育ちあい推進審議会 令和3年11月定例会要点録

---

令和3年11月18日（木曜）

出席委員	学校教育の関係者	
	委員	伊藤 映二
	社会教育の関係者	
	委員	青木 ひとみ
	委員	布施 栄子
	家庭教育関係代表	
	委員	鵜澤 千秋
	委員	細田 雅美
	学識経験者	
	委員	炭谷 晃男
	委員	梅澤 佳子
	公民館利用者代表	
	委員	野口 享子
	委員	中川 雄介
	公募市民	
	委員	安藤 慎次
	委員	鯨井 俊彦
	図書館協議会代表	
	委員	大島 真理子
	文化財保護審議会代表	
	委員	小林 満起子
欠席委員	委員	野々村 剛
出席職員	教育部長	鈴木 恭智
	オリンピック・パラリンピック担当部長	小林 弘宜
	永山公民館長兼関戸公民館長	北方 静史
	図書館長	横倉 妙子
	文化財・教育企画担当課長	齊藤 義照

---

(開会時刻：14時30分)

議事録署名委員：小林委員

**議事次第・配布資料**

〔報告事項〕

1 「多摩市デジタルアーカイブ」新しいコンテンツの公開について	【資料 1】
2 公民館事業進捗状況	【資料 2】
3 公民館施設使用状況	【資料 3】
4 令和3年度公民館等利用者懇談会の開催について	【資料 4】
5 関東甲信越社会教育研究大会東京大会について	【当日配布1】
6 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について	【当日配布2】

〔協議事項〕

1 学びあい育ちあい推進審議会の提言「多摩市におけるこれからの社会教育のあり方について	【資料 5】
---	--------

〔連絡事項〕

1 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について	【資料 6】
--	--------

会 長 :	本日の出席委員は、13名である。定足数に達しているため令和3年多摩市学びあい育ちあい推進審議会11月定例会を開始する。会議録署名委員は小林委員にお願いする。まず、10月1日付けで千葉教育長が就任されたので挨拶をお願いする。
教 育 長 :	— (挨拶) —
会 長 :	今回、新たに審議会委員となった大島委員に挨拶をお願いする。
委 員 :	— (挨拶) —
会 長 :	事務局からも人事異動があったので挨拶をお願いする。
文化財・教育企画担当課長 :	— (文化財・教育企画担当課長挨拶) —

〔報告事項〕

**1 「多摩市デジタルアーカイブ新しいコンテンツ公開」について・・・・・・・・・・ 【資料 1】**

図 書 館 長	デジタルアーカイブについては、本年1月から公開している。11月1日市制施行50周年記念事業として。新たなコンテンツを公開した。ドローンを使ったパノラマ映像や様々な角度から多摩市を見る事ができ、調べ学習の入口として学校での活用を目指している。
会 長	図書館には色々な資料が揃っている中で、デジタル化は先頭をきっている。縄文土器が360度から見られるなど、検索機能が揃っていて、より学習がしやすくなっている。

## 2 公民館事業進捗状況及び公民館施設使用状況について・・・・・・・・・・ 【資料2・3】

公 民 館 長 :	<p>コロナも落ち着き、徐々に事業も通常に戻りつつある。永山公民館事業の主な状況は、9・10月に家庭教育講座を、乳幼児もつ保護者を対象に行った。次に、令和2年度は中止した中学生の職場体験について、諏訪中学校2名の生徒の受け入れを行った。市民講座は、市制施行50周年記念事業として、読書会や「私と多摩市」をテーマとした川柳を募集した。約100作品が集まり現在掲示中。今後、冊子にして配布する。多摩市にゆかりのある映画上映会を4回行った。延べ267名の参加があった。現在、TAMA シネマフォーラム開催中。</p> <p>関戸公民館事業の主な状況は、子育て安心講座として市民防犯の底力をテーマに行った。家族について考える講座は、若者のネットトラブルを中心に行った。市内大学と連携し関戸地球大学院全6回を11月から開催する。新たな試みとして、日野市と連携し、オンライン、ズームを活用しながら開催する。現代課題講座として自殺をテーマに講演会を行った。市民ロビー活用事業を行う。関戸公民館は12月から来年7月まで大規模改修を行う。その間、市民ロビーが使えなくなるので最後の事業となる。</p> <p>施設使用状況については、8・9月はコロナの影響が大きく前年比を下回っているが、10月は通常に近づく状況である。</p>
会 長 :	<p>川柳を使った事業はやってみたいと思っていた。関戸地球大学院の参加者は例年並みか。ズームについては、東京都市長会の協働事業を活用し行っていて、多摩地域がデジタル化し全国と繋がることに期待する。</p>
教 育 部 長 :	<p>関戸地球大学院の参加者については、関戸公民館での定員が70名、ズームについては定員がないので、次回の委員会で報告できる。</p>

## 3 令和3年度公民館等利用者懇談会の開催について・・・・・・・・・・ 【資料4】

公 民 館 長 :	<p>例年1月に関戸、永山2か所で開催していたが、コロナの状況や関戸公民館は工事が行われているため、今回は永山公民館1か所とする。開催日は令和4年1月22日土曜日ベルブホールで行う。開催にあたり委員2名の出席をお願いする。</p>
会 長 :	<p>鵜澤副会長と中川委員が出席。</p>

## 4 関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について・・・・・・・・・・ 【当日配布資料1】

会 長 :	<p>2日の予定を1日に縮小して府中市どりーむホールで開催した。前半は東京大学牧野教授の基調講演があった。印象に残るキーワードとして社会の中に小さな社会を作る。学校を中心に NPO、市民団体、町内会などの人々が子どもと一緒に社会を作る。多摩市もそうあってほしいと思った。後半は、各市、委員のパネルディスカッションだった。調布市の演劇を通して社会教育を学ぶなど、活発な議論がされた。</p>
-------	--

## 5 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について【当日配布資料2】

会 長 :	稲城市地域振興プラザにて開催し、鶴澤副会長と私が参加した。前半は東京理科大学伊藤教授の基調講演があった。地域の学びとシビックプライドをテーマにイギリスロンドンの建築物と市民のまちづくり活動について講演された。多摩NTには立派なインフラがたくさん揃っている。入居50年を迎えインフラの価値を見直すのに参考となる。これからは街づくりから街づかいの時代である。資源をいかに活用するかなど参考となる話であった。
副 会 長 :	地域コミュニティが研修テーマだったので参加した。前半の基調講演を聞いて、住んでいる人たちが求められるものを、自分たちが携わっていることや、行政と協力して、若者たちを巻き込んでまちづくり、特に商店街の活性化につないでいくことができたかと考えた。後半では事例発表1として、「いな父の会」から広げたコミュニティについて発表があった。父親達が色々なイベントを開催し、母親とは別の視点で携われることが良いと思った。
会 長 :	事例発表2として、稲城市社会教育委員会から、稲城のいいところを次の世代に繋げるための方策・構想の発表があった。

## 6 東京オリンピック・パラリンピック推進事業の実施状況について・・・・・・・・・・【当日配布資料】

オリンピック・パラリンピック担当部長 :	実施状況の詳細については、配布した資料のとおり。ロードレース開催にあたっては、市民、市内の大学生の協力について大変感謝している。開催できた事業、できなかった事業があるが、それを踏まえ、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを多摩市のなかで引き続き取り組んでいく必要がある。
会 長 :	コロナの中、大変ご苦勞様でした。今回の様なオリンピック・パラリンピックで子供たちが感動・感激したのか気になる。それなりに影響を受ける世代が育ってくればと願っている。
委 員 :	日々、状況が変化する中ご苦勞様でした。学生からは、今回のサポーターについては非常に悩んだ。ただ、市民から暖かい言葉をかけられ、その言葉に支えられながら活動した。今回の大会は、色々悩み、考える事が多かったが、今後、この事が学生達の人生に記録されていく事と思っている。

### 〔協議事項〕

## 1 学びあい育ちあい審議会の提言「多摩市における社会教育のあり方」について・・・・・・・・【資料5】

文化財・教育企画担当課長 :	8月の書面開催で委員のみなさんから頂いた意見を反映した案となる。まず表題については社会教育施設のあり方から、ご提案いただいた社会教育のあり方に変更した。これまでの審議会での活動を「はじめに」のページに、社会教育の現状も記載したほうが良いとの意見があったので、「社会教育を取り巻く現状と本提言書の目的」を記載した。次に本提言書の構成についてご提案いただいた5つの項目に分けた理由を掲載し、5つの項目ごとに、公民館、図書館、ふるさと資料館別に意見を反映させ記載した。
----------------	---

会	長 :	2年間に渡って提言書作成に取り組んできたが、コロナの時期と重なってしまい思うように協議ができなかった。前半はコロナ禍の学習状況の点検を行い、後半に焦点を絞って提言を作成する形となった。5つの項目を具体的に展開するために各委員に意見をいただいていた。図書館、ふるさと資料館については、これから開館するためこれからの構想、展開について記載している。次回(1月)で最終修正を行い決定稿としたい。
会	長 :	タイトルについて、「社会教育のあり方」となっているが、変更した経緯や内容との関係などを確認したい。
文化財・教育企画担当課長 :		タイトルの変更について提案いただいたので修正した。しかし内容は施設ごとの記載となっているのでご意見をいただき確認したい。
会	長 :	社会教育のあり方として考え、その中から個別テーマを選び出して提言をまとめることであった。提言書案を見てみると広い意味では社会教育のあり方だが、大きく体勢を変えるのではなく公民館、図書館、ふるさと資料館の課題、方向性を示した内容となっている。社会教育施設のあり方のほうが内容と整合性がとれるのではないか。
委	員 :	原点に戻って、社会教育施設のほうが良いと思うが、社会教育にこだわるのなら、社会教育環境みたいに言い換えるのもひとつだと思う。ただ、内容をみると社会教育施設だと思う。
委	員 :	施設という言葉がハード面について書かれているイメージがある。内容をみるとタイトルとかみ合わない。サービスという言葉も考えたが、サービスだとソフト面のイメージがある。内容の中にネットワーク化、人材育成がある。環境という言葉も良いと思うが、あまりにも大きな括りになってしまうのではないか。
委	員 :	図書館とふるさと資料館はこれから出来るので方向付けができていて良いと思う。表題はともかく、内容は良いと思う。
会	長 :	「公民館、図書館、ふるさと資料館のあり方」とサブタイトルをつける方法もある。
委	員 :	あり方という言葉が漠然としている。施設の活用の仕方とか、内容をみると施設を使って社会教育活動をしていくかで、施設をいれるのであれば「施設の活用の仕方」とかが良いと思う。
会	長 :	タイトルについては、事務局と相談して再考する。ご意見があれば事務局までお願いする。次に内容についてご意見があればお願いする。
委	員 :	「アウトリーチ活動の充実」の中で、図書館は19歳以下の利用率が低くそれを課題としているが、課題解決の内容が低年齢層のみの記載となっている。高校生・大学生の利用への課題解決の記載がない。SNSの発達で調べ学習も変化し、特に高校、大学生は図書館を利用しない。この課題について図書館はどう考えているのかが書かれていない。
教 育 部 長 :		たたき台は事務局で作成することとなっていたので、8月の書面開催の際にお示した。提言書として市に提出いただくものであり、事務局で作成するのは限界がある。現在の提言書(案)にはいくつか課題があると思っている。テーマについては昨年

		8月の定例会において、「社会教育施設のあり方」で提言をまとめる事が確認されている。社会教育施設を考えると、総合体育館、広く捉えて児童館、八ヶ岳少年自然の家も含まれる。タイトルについては再考するが、まとめる方向性としては昨年確認されたテーマ、委員の皆さんで議論いただき、中身に沿ったタイトルをつけていただきたい。事務局が作成した内容は、行政側の自己評価であって行政側がやりやすい事を書いた提言書となっている。そうではなく、審議会の委員の皆さんに課題と解決方法を提言いただきたい。時間のない中だが、委員の皆さんの率直な意見をお願いする。
会	長：	この提言書は現状と課題はしっかり書かれているが、市民らしい提言がない。一方で実行できないものを出しても意味がないと思う。うまくすり合わせができなかったところがある。
教 育 部 長：		緊急事態宣言下において、皆さんの活動も色々な制限があったと思う。そのあたりに焦点をあてて、タイムリーでもあり、今後も感染症の第6波があるかもしれないと考えて、今回、事務局で書いたものに加えて、各委員がコロナ禍の中でも工夫をして施設を運営する等の意見は出しやすいと考える。
会	長：	公民館・図書館・ふるさと資料館それぞれに提言の掘り起こしをするのは時間的に難しいが、再度、施設に対して要望、提言を出していただき、事務局とすり合わせをする。皆さんへの宿題として、タイトル案またはサブタイトル案を考えていただくのと、再度提言書を読んでいただき要望や事業、意見を考えていただきたい。
委 員：		事務局の話聞いて、なぜ図書館、公民館、ふるさと資料館を取り上げたのかを明記したほうが良いと思う。それを、サブタイトルになるのかもしれないが、なぜ社会教育でこの3つの施設なのか。はじめに書いたほうが良いと思う。
教 育 部 長：		意見をいただくのは、11月末までに事務局までお願いしたい。頂いた意見を集約し、再度、提言書案を事務局で作成した後、会長と意見を調整し、年明けに提言書案を送付する。再度、確認し意見を頂いた上で、1月の定例会に臨みたい。

### 〔連絡事項〕

#### 1 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会及び研修会・・・・・・・・・・【資料6】

文化財・教育企画担当課長：	令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流会及び研修会が12月11日土曜日、午後1時30分から府中市市民活動センターで開催される。参加希望者は事務局まで連絡願います。	
会	長：	必須の研修ではないが、是非、参加してほしい。

### 〔その他〕

会	長：	11月6日土曜日に、全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹、地域とともにある学校づくり推進フォーラム2021三鷹、三鷹教育フォーラム2021がオンラインで開催された。その中で「子ども熟議」が紹介された。三鷹市では中学校区でコミュニティ・スクールを作って一つの学園として活動をする。中学生が小学
---	----	--

	生を集めて、みんなで差別の問題やいじめの問題について議論をする。子どもたち自身が作った目標である「子ども像」をかなえるために、家庭でどんな支援ができるかを考える。その次に学校で考える。最後は地域全体で考えるといった構造で進んでいて感心した。三鷹市は新しい教育に取り組んでいる。学校3部制を強調していた。3部とは昼間の子どもたちが使う学校、放課後の学校、夜地域の人が使う学校となる。みんなの学校であって子どもたちだけの学校ではないという取り組みを進めている。年明けに、先生が渾身をこめた授業づくりをする探求フォーラムが開催される。常に新しい事に取り組んでいく姿に感心した。
--	---

教 育 部 長 :	第4次多摩市生涯学習推進計画が本年度より実行しているなかで、履行確認や状況変化等内部評価を行うこととなった。それに加え、第三者からの外部評価も行う必要があるのではないかと議論となった。この計画作成にあたり、学びあい育ちあい審議会より2名の委員に携わっていただいた経緯がある。そこで外部評価委員に加えていただけないかと考えている。次回(1月)の定例会で報告したい。先ほどの会長の報告をうけて、多摩市でも年明け2月10日に「子どもみらい会議」を開催する。子どもたちが主体となって、ESDや環境問題について、自分たちで考えて、自分たちでまとめて宣言をする。今回はオンライン会議となるので是非皆さんに観ていただきたい。
-----------	---

会 長 :	次回は1月20日木曜日、午後1時30分から第二庁舎会議室で開催となる。審議会終了後、午後3時45分から地域学校協働活動推進委員会を開催する。
-------	--

(1時間30分)

(閉会時刻16時00分)

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和4年 月 日

会長

委員